3．気管カニューレ内部吸引（通常手順）

指導者評価票

第1回 日本慢性期医療協会「介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修」（第1号・第2号）

喀痰吸引「実地研修」評価票

研修受講者氏名		所属		本票（　/　）枚目

【達成度】ア．1人で実施し、手引きの手順どおりに実施できている
イ．1人で実施しているが、手引きの手順を抜かしたり間違えており、実施後に指導した
ウ．1人で実施しているが、手引きの手順を抜かしたり間違えており、実施後に指導した　（その場では見過ごせないレベル）
エ．1人での実施を任せられるレベルにはない

回　数			（　）回目	（　）回目	（　）回目	（　）回目	（　）回目
月　日			/	/	/	/	/
時　間			:	:	:	:	:
評価項目			達成度記入欄				
STEP4 準備	1	医師の指示等の確認を行う					
	2	手洗いを行う					
	3	必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する					
	4	必要物品を実地研修協力者のもとに運ぶ					
STEP5 実施	5	実地研修協力者に吸引の説明をする					
	6	吸引の環境・実地研修協力者の姿勢を整える					
	7	気管カニューレ周囲や固定の状態を観察する					
	8	手袋の着用またはセッシを持つ					
	9	吸引チューブを清潔に取り出す					
	10	吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する					
	11	（浸漬法の場合）吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く					
	12	吸引器の電源を入れて原則として滅菌精製水を吸い決められた吸引圧になることを確認する					
	13	吸引チューブ先端の水をよく切る					
	14	実地研修協力者に吸引開始について声かけを行う					
	15	適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する					
	16	適切な吸引時間で気管カニューレ内の分泌物等の貯留物を吸引する					
	17	吸引チューブを静かに抜く					
	18	吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く					
	19	滅菌精製水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす					
	20	吸引器の電源を切る					
	21	吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す、または単回使用の場合は原則として破棄する					
	22	手袋をはずす（手袋を着用している場合）またはセッシを戻す					
	23	実地研修協力者に吸引終了の声かけを行い、姿勢を整える					
	24	吸引物及び実地研修協力者の状態を観察する					
	25	実地研修協力者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する					
	26	吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを観察する（経鼻経管栄養実施者のみ）					
	27	手洗いをする					
STEP6 報告	28	吸引物及び実地研修協力者の状態を報告する					
	29	吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないことを報告する（経鼻経管栄養実施者のみ）					
	30	ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）					
STEP7 片付け	31	吸引びんの排液量が70%～80%になる前に排液を捨てる					
	32	使用物品を速やかに後片付けまたは交換する					
STEP8 記録	33	実施記録を記載する					
結果（アの個数）							

指導者氏名　　所属